

## 2-4. シンポジウムの内容（全体テーマ・発表者・演題）

### 第1回 テーマ『伊那谷の里山』（平成9・1997）

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 「里山はどのようなところか」 | 四方 圭一郎（伊那谷自然友の会）      |
| 「里山の利用と論争」     | 石川 正臣（伊那史学会）          |
| 「縄文・弥生時代の里山」   | 市沢 英利（下伊那考古学会）        |
| 「トンキラ農園物語」     | 高橋 寛治（柳田國男記念伊那民俗学研究所） |
| 「里山は病んでいる」     | 木下 進（伊那谷自然友の会）        |

### 第2回 テーマ『伊那谷の水辺』（平成10・1998）

- 「ギフチョウ・ヒメギフチョウの生息条件から探る伊那谷の水環境変化」野牧 君夫（天龍村ギフチョウ研究会）
- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 「湿地は希少植物の宝庫」   | 北沢あさ子（はなのき友の会）        |
| 「堤に残る生き物と人の営み」 | 中川 勲（伊那谷自然友の会）        |
| 「古代人は水辺で」      | 下平 博行（下伊那考古学会）        |
| 「水神信仰と人びとの暮らし」 | 寺田 一雄（柳田國男記念伊那民俗学研究所） |
- 「天龍川の水位50年間の変遷考察」今村 真直（飯田文化財の会）

### 第3回 テーマ『伊那谷の魅力を訪ねて1』（平成11・1999）

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 「伊那谷の峠道」               | 久保田賀津男（伊那史学会）         |
| 「伊那谷の金属を訪ねる」           | 原 董・今村 理則（金属の会）       |
| 「ミュージアム自然美術館-環境美術の試み-」 | 羽場 睦美（野外教育センター）       |
| 「竜丘の古墳とその公園化について」      | 下平隆 司・今村文一（竜丘古墳を考える会） |
| 「円空仏の魅力-飯田市の円空仏-」      | 毛利 郁美（飯伊婦人文庫）         |
| 「ギフチョウから教えられた環境化」      | 井原 道夫（伊那谷自然友の会）       |

### 第4回 テーマ『伊那谷の魅力を訪ねて2』（平成12・2000）

- |                             |                |
|-----------------------------|----------------|
| 「絵馬奉納額を訪ねて」                 | 中井 博（飯田文化財の会）  |
| 「飯伊地方の古墳と馬」                 | 小林 正春（下伊那考古学会） |
| 「飯伊の鉱山と鉱物」                  | 今村 理則（金属の会）    |
| 「南アルプスの山々を訪ねて(形と成り立ち)」      | 村松武（伊那谷自然友の会）  |
| 「獲得遺伝形質の保護と植栽樹木-ハナノキを例として-」 | 二宮 考嗣（はなのき友の会） |
- 「東国古道記から見える伊那谷」高橋 寛治（柳田國男記念伊那民俗学研究所）

### 第5回 テーマ『伊那谷の魅力を尋ねて3』（平成13・2001）

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 「棚田再考」           | 〃城 節雄（伊那谷自然友の会）   |
| 「下伊那における近代思想の展開」 | 清水 三郎（伊那近代思想史研究会） |
| 「阿智村の東山道の遺跡と課題」  | 今村 善與（飯伊文化財保護協会）  |

### 第6回 テーマ『伊那谷の魅力を訪ねて4』（平成14・2002）

- 基調提案「文化財を守る-後世に伝えたいもの・遺すべきもの-」今村 真直（飯田文化財の会）
- 問題提起「天然記念物指定についての問題点」木下進（伊那谷自然友の会）
- 「埋蔵文化財とその活用」竹内 稔（下伊那考古学会）

### 第7回 テーマ『天龍川1-その本来のあり方を考える-』（平成15・2003）

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 「名所由来と来峡者作品記録をめぐって」  | 今村 真直（飯田文化財の会）     |
| 「天龍川と樽木の搬出について」      | 三浦 宏（飯田文化財の会）      |
| 「天龍峡以南の通船と渡船」        | 伊坪 達郎（伊那史学会）       |
| 「森本州平日記にみる天竜川水力発電問題」 | 松上清志（伊那近代思想史研究会）   |
| 「河川敷に生息する哺乳類」        | 宮下 稔（伊那谷自然友の会）     |
| 「天龍川を考える」            | 長沼 和宏（旧天竜川上流事務所勤務） |

### 第8回 テーマ『天龍川2-これからのあり方を考える-』（平成16・2004）

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 「天龍川水系の回顧と課題」         | 手塚 友逸（伊那谷自然友の会） |
| 「天龍川に関わる川路の地名」        | 田畑 作衛（伊那谷地名研究会） |
| 「クロコマノチョウの分布拡大」       | 井原 道夫（伊那谷自然友の会） |
| 「伊那谷の天龍水系の廃棄物処分場について」 | 中津頼照（はなのき友の会）   |
| 「天龍川最下流と遠州海岸」         | テーマ旅行参加者一同      |

### 第9回 テーマ『伊那谷の災害』（平成17・2005）

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 「遠山地震と埋没林」 | 寺岡 義治（伊那谷自然友の会） |
|------------|-----------------|

「天龍川・川路地区の水防史から」 今村 眞直 (飯田文化財の会)  
「資料にみる近世伊那谷の地震災害」 吉沢 明佑 (伊那史学会)  
「天災と霜月祭り」 桜井弘人(柳田國男記念伊那民俗学研究所)

第 10 回 テーマ『伊那谷学の創造と地育力』(平成 18・2006)

基調講演「南信州地域の経済的自立向上を目指して」

牧野光朗(南信州広域連合長・飯田市長)  
講演「伊那谷学と地育力向上」小林正春 (飯田市教育委員会生涯学習課長)  
講演「伊那谷学と自然」 堤 久 (伊那谷自然友の会)

第 11 回 テーマ『伊那谷らしさをさぐる- 伊那谷学へのアプローチ I』(2007)

「弥生時代 後期の伊那谷南部と東濃地方」市澤英利 (下伊那考古学会)  
「南アルプスのシカ食害の現状と課題」小林 正明 (伊那谷自然友の会)  
「地名が語る伊那谷の歴史-地名は生きている-」原 董 (伊那谷地名研究会)  
「『ギフチョウ産卵調査』から何が見えるか?」松下重雄 (飯田昆虫友の会)

第 12 回 テーマ『伊那谷らしさをさぐる- 伊那谷学へのアプローチ II』(2008)

問題提起「伊那谷まるごと博物館と伊那谷学 の概念」

羽場 睦美 (野外教育研究財団)  
「下伊那教育会参考館 の考古資料 の再検討- 阿島式土器とその意義 -」  
守屋 武浩 (下伊那教育会郷土調査部)  
「最近目立つ哺乳類」 宮下 稔 (伊那谷自然友の会)  
「飯田市近辺の霧の発生について」 近松 志津夫 (下伊那教育会郷土調査部)  
「飯田下伊那地方の住まい」 松上 清志 (柳田國男記念伊那民俗学研究所)

第 ※ 回 テーマ『地名からみる伊那谷の自然と歴史』(平成 21・2009)

※伊那谷地名研究会主催の第 8 回シンポジウムを伊研協「伊那谷自然と文化総合研究月間」のメインシンポとして共催する

基調報告「南信州の地名研究の成果と課題」原 董 (伊那谷地名研究会)  
「伊那谷の環境レポート<私のワゴン> 鹿の生息密度は地質・地名とも関係しているかも知れない! ?- 三峰川地滑りジオツアー等に参加して-」  
木下 進 (伊那谷自然友の会)  
「神坂峠周辺の金属関連地名」 羽場 睦美 (金属・鉱物の会)  
「石造五輪塔に関する地名」 岡田 正彦 (伊那史学会)

第 13 回 テーマ『伊那谷まるごと博物館・伊那谷学をめざして』(平成 22・2010)

「伊那谷の野鳥」 原田 望 (伊那谷自然友の会)  
「飯田動物園発 ご当地ヒーロー “ZOOレンジャー” について」  
前 裕治 (伊那谷環境文化研究会)  
「竜丘の小字から<大道>の痕跡を探る」 今村 理則 (伊那谷地名研究会)  
「生物多様性と伊那谷まるごと博物館について」

後藤澄寿 (伊那谷まるごと博物館の会)

第 14 回 テーマ『伊那谷の風土の多様性について』(平成 23・2011)

—多様な風土をいかに生かしてきたか—

これからどう生かしていくか—

「伊那谷にも火山があった」 坂本 正夫 (伊那谷自然友の会)  
「田んぼの生物たち」 四方 圭一郎 (伊那谷自然友の会)  
「下伊那の美術館事始め」 鎌倉 貞男 (伊那史学会)  
「弥生人の営みと伊那谷の風土」 市澤 英利 (下伊那考古学会)

第 15 回 テーマ『伊那谷の風土の多様性の中から』(平成 24・2012)

—自然とひととの関わりを考える—

「ブッポウソウの分布から見えてくるもの」 田畑 孝宏 (伊那谷自然友の会)  
「神と仏がつどう谷」 今井 啓 (柳田國男記念伊那民俗学研究所)  
「地名を文化として伝える重要性」 原 董 (伊那谷地名研究会)

第 16 回 テーマ『伊那谷の風土の多様性』(平成 25・2013)

—自然や人の営みを考える—

「馬が紡いだ伊那谷の古墳文化」 小林 正春 (下伊那考古学会)  
「伊那谷南部の鉱山・試掘跡」 今村 理則 (金属・鉱物の会)  
「飯田下伊那の文化碑について」 吉澤 健 (文学碑研究会)

第17回 テーマ『伊那谷の風土の多様性』 (平成26・2014)

—天竜川流域の災害と消えていく鳥や樹木—

- 「最近の天竜川上流における治水砂防の取組の紹介」 中谷 洋明 (国土交通省中部地方整備局・天竜川上流河川事務所 所長)  
「遠山地震の関連する地名について」 針間 道夫 (伊那谷地名研究会)  
「伊那谷から消えた鳥たち」 原田 望 (伊那史学会)  
「伊那谷から消えた樹木」 牧内 誠 (伊那谷自然友の会)

第18回 テーマ『戦後、伊那谷はどう変わったか』 (平成27・2015)

—風土と生活を考える—

- 「毎年増え続ける飯田下伊那の帰化植物」 木下 進 (伊那谷自然友の会)  
「伊那谷の土地利用の変遷」 伊藤 渉 (伊那谷自然友の会)  
「下伊那における人の死・埋葬などの変化」 牧内 誠 (伊那谷民族学研究所友の会)

第19回 テーマ『伊那谷・次世代に伝えたいもの残したいもの』 (平成28・2016)

—自然・文化・風土—

- 「雑魚とり・虫とり・秘密基地 体験の場を」 中村 貴俊 (伊那谷自然友の会)  
「土地に刻まれた先人の生き様を読み取る」 小林 正春 (下伊那考古学会)  
「自らの足で自の地に立つ—地名への眼差し—」 原 董 (伊那地名研究会)

第20回 テーマ『南アルプス ジオパークから考える』 (平成29・2017)

- 「南アルプスジオパークとは何か」 坂本 正夫 (伊那谷自然友の会)  
「南アルプスの植生復元について」 八幡 秀彦 (伊那谷自然友の会)  
「中央構造線沿いの道—東国古道—」 針間 道夫 (伊那谷民俗学研究所)

第21回 テーマ『伊那谷・次世代に伝えたいもの残したいもの その2』 (平成30・2018)

—自然・文化・風土—

- 「松川町の天龍川河原に生息するツツザキヤマジノギクについて」 堤 久 (伊那谷自然友の会)  
「古墳維持保全活動における問題点 —飯沼(雲彩寺)古墳を例に—」 古川 學 (南信州文化財の会)  
「民俗芸能の宝庫である南信州で考える伝統文化の継承問題 —その継承の歴史をふり返るなかで—」 松上 清志 (伊那谷民俗学研究所)

第22回 テーマ『伊那谷・次世代に伝えたいもの残したいもの その3』 (令和元年・2019)

—つなぐ・使う・創る—

- 「動物園の生物保全活動について —二ホンライチョウの保全活動を例に—」 大崎康平 (飯田市動物園)  
伊藤 崇 (飯田市動物園)  
「南信州資料センター10年の歩み —収集、保存、分類、活用—」 吉澤 健 (南信州地域資料センター)  
『「文化財の保全を考える会」から見える継承の問題』 伊坪達郎 (南信州文化財の会)